


平成 31 年度 新規採択時評価の実施状況

(砂防課)

事業名	箇所・地区名等	所在市町	事業費 (百万円)	費用対効果	備考
急傾斜地崩壊対策事業	押切	三島市	160	3.45	
急傾斜地崩壊対策事業	間門峰山	富士市	240	3.79	
急傾斜地崩壊対策事業	四方沢	静岡市	170	2.7	
急傾斜地崩壊対策事業	長仙ヶ谷	静岡市	80	13.8	
急傾斜地崩壊対策事業	大久保安井谷	磐田市	95	2.31	
砂防事業	八津奥沢北沢	静岡市	200		
砂防事業	外神沢	藤枝市	180	78.73	
砂防事業	洞川	伊豆市	290	9.41	
砂防事業	大洞川	沼津市	290	46.47	
砂防事業	西上神沢	浜松市	230	3.45	
砂防事業	志んど川	南伊豆町	230	12.96	


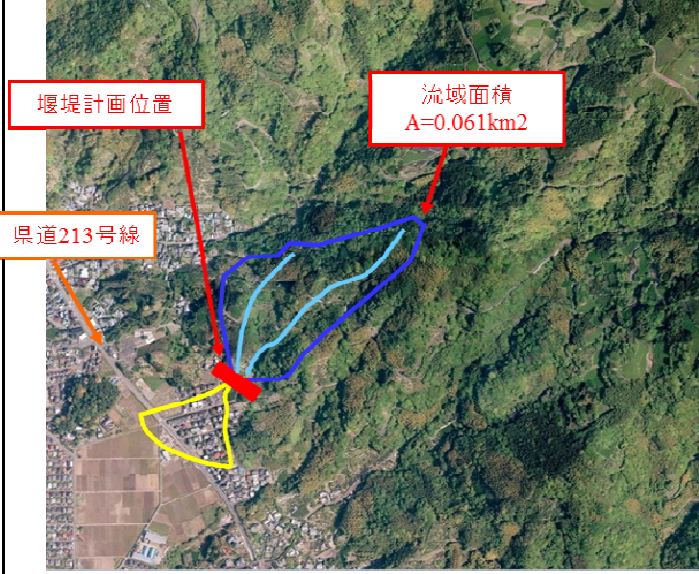
平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	砂防事業		
河川・路線・施設名等	八津奥沢北沢	所在市町	静岡市
事業費	200 百万円	事業期間	H31 ~ H36
事業概要、目的 八津奥沢北沢は、静岡市葵区の中部に位置し、保全対象として人家 88 戸および、県道山脇大谷線を含む土石流危険渓流である。八津奥沢北沢上流では、小規模山腹崩壊がたびたび発生しており、渓床には不安定土砂が厚く堆積、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。			
費用対効果 (B/C)		総費用	総便益
費用対効果分析の手法 「砂防事業の費用便益分析マニュアル (案)」による。			
評価指標、項目 <災害発生時の影響> 人家 88 戸に被害を及ぼす恐れがある。 <災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。			
事業概要図			
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;">  <p>位置図</p> <p>八津奥沢北沢 通常砂防事業</p> </div> <div>  <p>幼稚園</p> <p>県道-山脇大谷線</p> </div> </div>			

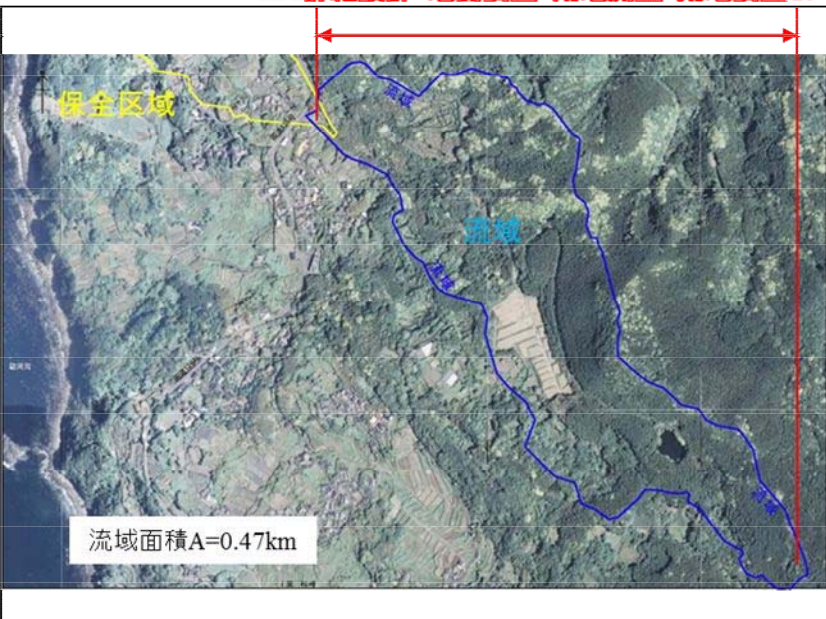
平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	砂防事業						
河川・路線・施設名等	外神沢			所在市町	藤枝市		
事業費	180 百万円		事業期間	H31 ~ H34			
事業概要、目的							
<p>外神沢は、藤枝市の東部に位置し、保全対象として人家 95 戸および県道焼津岡部線を含む土石流危険渓流である。外神沢上流では、溪床に不安定土砂が厚く堆積、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。</p>							
費用対効果(B/C)	35.14	総費用	120	総便益	4,217	基準年	H30
費用対効果分析の手法							
「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」による。							
評価指標、項目							
<p><災害発生時の影響> 人家 95 戸に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し土砂災害発生の危険性が高い。</p>							
事業概要図							
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>位置図</p>  <p>外神沢 通常砂防事業</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>堰堤計画位置</p> <p>流域面積 A=0.061km²</p> <p>県道213号線</p> </div> </div>							

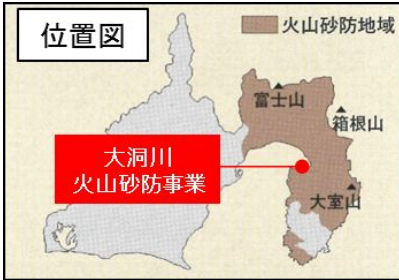

平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	砂防事業						
河川・路線・施設名等	洞川			所在市町	伊豆市		
事業費	180 百万円		事業期間	H31 ~ H35			
事業概要、目的 洞川は、伊豆市の西部に位置し、保全対象として国道 136 号（第 1 次緊急輸送路）、人家 34 戸、社会福祉施設「駿豆学園」を含む土石流危険渓流である。そのため、土砂流が発生した場合、大規模な人的被害や物的被害が想定される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。							
費用対効果 (B/C)	9.41	総費用	301	総便益	2,832	基準年	H30
費用対効果分析の手法 「砂防事業の費用便益分析マニュアル（案）」による。							
評価指標、項目 <災害発生時の影響> 人家 34 戸に被害を及ぼす恐れがある。 <災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し土砂災害発生の危険性が高い。							
事業概要図							
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>位置図</p>  </div> <div> <p style="color: red; font-weight: bold;">H31 詳細設計・地質調査・用地測量・用地調査 N=1 式</p>  </div> </div>							

平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

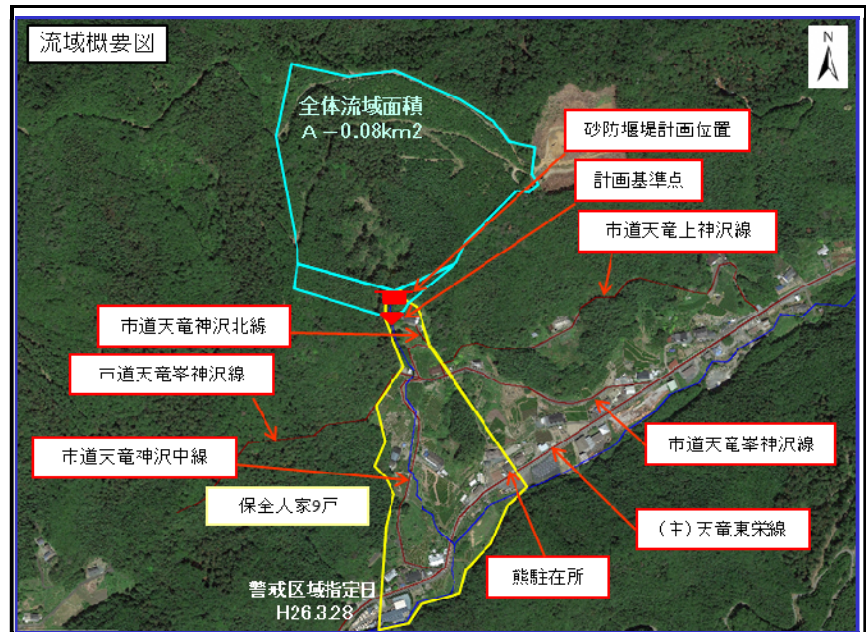
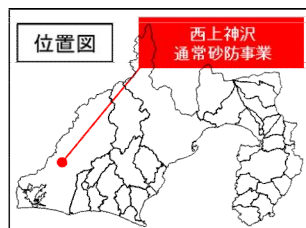
事業名	砂防事業						
河川・路線・施設名等	大洞川			所在市町	沼津市		
事業費	290 百万円		事業期間	H31 ~ H35			
事業概要、目的							
<p>大洞川は、沼津市の南部に位置し、保全対象として人家 29 戸および緊急輸送路主要地方道沼津土肥線を含む土石流危険渓流である。大洞川上流では不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。</p>							
費用対効果(B/C)	46.47	総費用	135	総便益	6,274	基準年	H30
費用対効果分析の手法							
「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」による。							
評価指標、項目							
<災害発生時の影響>		人家 58 戸に被害を及ぼす恐れがある。					
<災害発生の危険度>		保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し土砂災害発生の危険性が高い。					
事業概要図							
							

平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	砂防事業						
河川・路線・施設名等	西上神沢			所在市町	浜松市		
事業費	230 百万円		事業期間	H31 ~ H35			
事業概要、目的 西上神沢は、浜松市天竜区の西部に位置し、保全対象として人家 9 戸、熊駐在所及び県道天竜東栄線を含む土石流危険渓流である。渓岸浸食により渓床には不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。							
費用対効果 (B/C)	3.45	総費用	375	総便益	1,294	基準年	H30
費用対効果分析の手法 「砂防事業の費用便益分析マニュアル (案)」による。							
評価指標、項目 <災害発生時の影響> 人家 9 戸に被害を及ぼす恐れがある。 <災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し土砂災害発生の危険性が高い。							

事業概要図



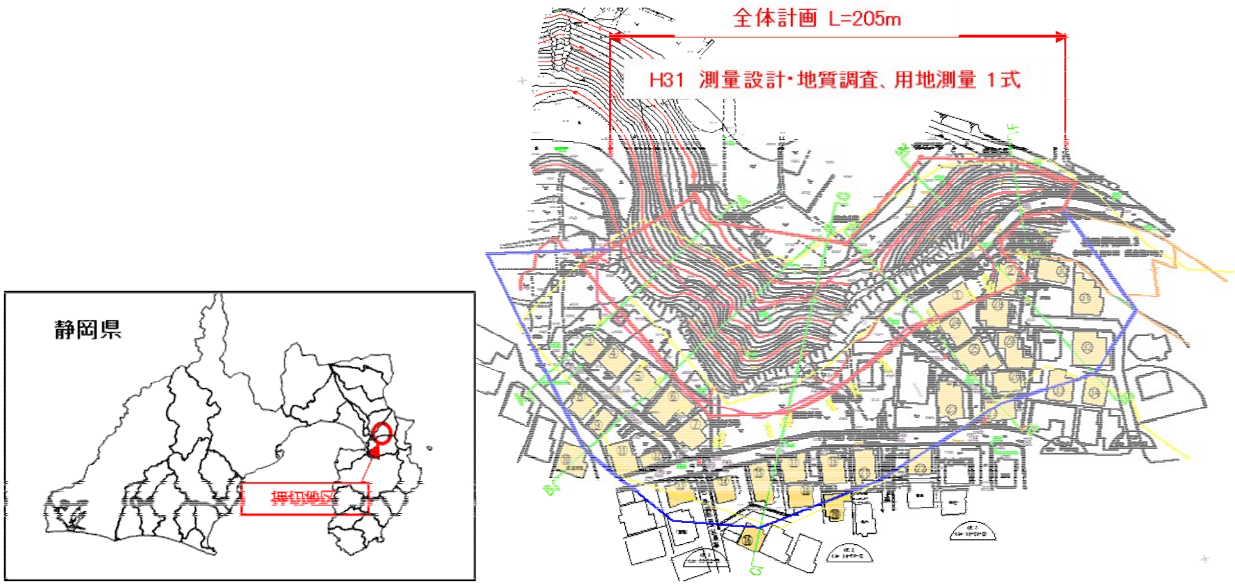
平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	砂防事業		
河川・路線・施設名等	志んど沢	所在市町	賀茂郡南伊豆町
事業費	230 百万円	事業期間	H31 ~ H35
事業概要、目的			
<p>志んど沢は、賀茂郡南伊豆町の東部に位置し、保全対象として人家 42 戸、(国)136 号及び町道青市区内 1 号線、町道折尾根線等を含む土石流危険溪流である。</p> <p>志んど沢上流では、溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。</p>			
費用対効果(B/C)	12.96	総費用	204
		総便益	2,644
		基準年	H30
費用対効果分析の手法			
「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」による。			
評価指標、項目			
<p><災害発生時の影響> 人家 9 戸に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し土砂災害発生の危険性が高い。</p>			
事業概要図			
位置図	志んど川砂防事業		
			
流域概要図			

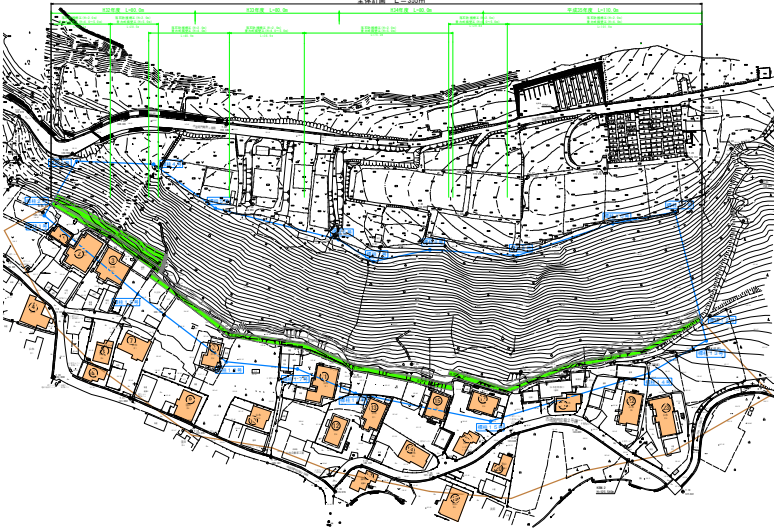
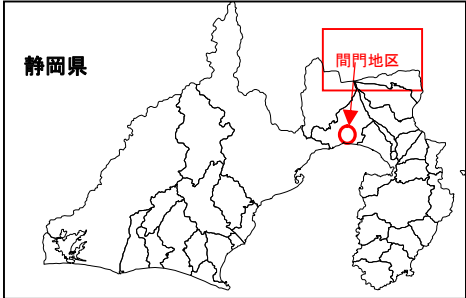
平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	押切			所在市町	三島市		
事業費	160 百万円			事業期間	H31 ~ H35		
<p>事業概要、目的</p> <p>押切地区は、三島市の中心部に位置し、保全対象として人家 32 戸を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 31 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>							
費用対効果 (B/C)	3.45	総費用	119	総便益	410	基準年	H30
<p>費用対効果分析の手法</p> <p>「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月) による。</p>							
<p>評価指標、項目</p> <p><災害発生時の影響> 人家 32 戸に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し、災害発生の危険性が高い。</p>							
<p>事業概要図</p> 							

平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	間門峯山			所在市町	富士市		
事業費	240 百万円			事業期間	H31 ~ H35		
事業概要、目的							
<p>間門峯山地区は、富士市の北部に位置し、保全対象として人家 23 戸を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 31 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>							
費用対効果 (B/C)	3.79	総費用	220	総便益	833	基準年	H30
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月) による。							
評価指標、項目							
<p><災害発生時の影響> 人家 23 戸に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し、災害発生の危険性が高い。</p>							
事業概要図							
							

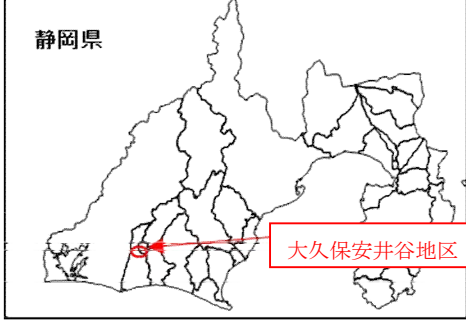
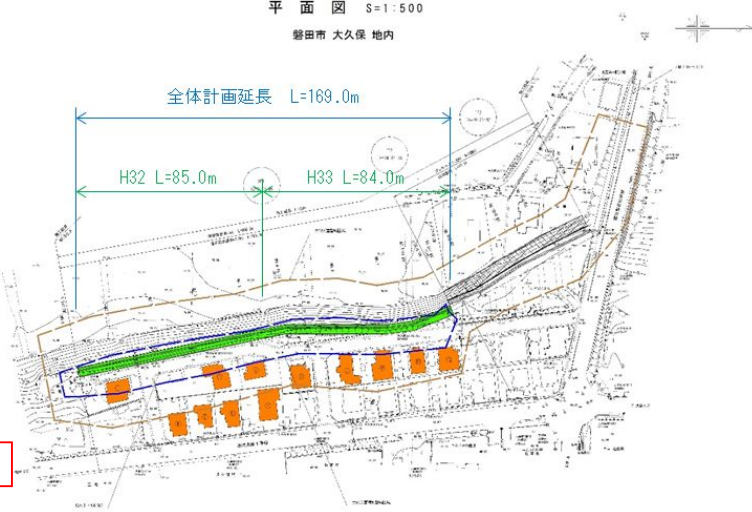
平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	四方沢			所在市町	静岡市		
事業費	170 百万円			事業期間	H31 ~ H35		
事業概要、目的							
<p>四方沢地区は、静岡市清水区の東部に位置し、保全対象として人家 16 戸を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 31 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>							
費用対効果 (B/C)	2.7	総費用	159	総便益	430	基準年	H30
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月) による。							
評価指標、項目							
<p><災害発生時の影響> 人家 16 戸に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し、災害発生の危険性が高い。</p>							
事業概要図							

平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	大久保安井谷			所在市町	磐田市		
事業費	95 百万円			事業期間	H31 ~ H33		
<p>事業概要、目的</p> <p>大久保安井谷地区は、磐田市の北部に位置し、保全対象として人家 12 戸を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 31 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>							
費用対効果 (B/C)	2.31	総費用	81	総便益	187	基準年	H30
<p>費用対効果分析の手法</p> <p>「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月) による。</p>							
<p>評価指標、項目</p> <p><災害発生時の影響> 人家 12 戸に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し、災害発生の危険性が高い。</p>							
<p>事業概要図</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>静岡県</p>  <p style="text-align: center; color: red;">大久保安井谷地区</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>平面図 S=1:500</p> <p>磐田市 大久保 地内</p>  </div> </div>							

平成 31 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	長仙ヶ谷			所在市町	静岡市		
事業費	80 百万円		事業期間	H31 ~ H33			
事業概要、目的							
<p>長仙ヶ谷地区は、静岡市葵区の東部に位置し、保全対象として人家 25 戸と沼上保育園を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 31 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>							
費用対効果 (B/C)	13.8	総費用	76	総便益	1049	基準年	H30
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月) による。							
評価指標、項目							
<災害発生時の影響>		人家 25 戸、沼上保育園に被害を及ぼす恐れがある。					
<災害発生の危険度>		保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し、災害発生の危険性が高い。					
事業概要図							
